

札幌市立白楊幼稚園

〒001-0024

北区北24条西7丁目1-10

【年長5歳児と白楊小学校5年生の交流の様子】

- ・年長5歳児と白楊小学校5年生との連携交流は、「5・5デー」と称し、総合的な学習の時間に位置付ける他、
- ・毎週金曜日の小学校の中休み時間を利用し長年にわたって定期的に行っている。
- ・中休み交流では5年生は園庭で遊んでいる幼児たちの鬼ごっこやリレーなどに加わって、一緒に体を動かして遊んだり、園児のお店ごっこにお客さんになったりし、自然な形で関わり合いをもってきた。また、5年生が企画進行するお楽しみ会や、運動会・発表会等の行事前に互いの演目を見せ合う交流などの計画的な活動も行った。次第に互いの名前を覚えて呼ぶなど、触れ合いをもち心を動かしながら交流を重ねてきた。
- ・同じ敷地内にある好条件を生かし、小学校のビオトープやグラウンド、畑、プールなど、小学校の施設も利用させて頂いている。畑で収穫した作物を「5年生にも食べさせてあげたいな〜」などの言葉が自然に聞かれるなど、気持ちが繋がっていることが感じられた。



段ボールを切るのは力がいるけれど、5年生が手伝ってくれた！



5年生がパンを買いに来てくれたわよ！忙しい忙しい♡



お兄ちゃん、すごい力持ち〜♪



5年生によさこいを教えてもらって、一緒に踊ったよ！

【連携の成果と今後に向けて】

交流の中で5年生は、5歳児が難しいことに挑戦している時にはモデルとなって見せる、困っていることを一緒に考える、新しい遊びを教えるなどの姿が多く見られた。一年間の積み重ねの中で5歳児は5年生の優しさを感じ、信頼や憧れの気持ちが育まれていった。また、5年生から受けた優しさを、3・4歳児との関わりの中で発揮していた。

小学校が隣接していることで、5・5デーの他、様々な行事や授業の刺激を自然に受けられたことにより、5歳児は「5年生みたいにやりたい！」「小学生になったら！」という期待や自覚が生まれた。

今後は交流によりどのような変容があったか、何が育ったかについて、教員同士、記録化、話し合いを深め、さらに、意義ある交流を目指したいと考える。

そうせい幼稚園

〒001-0924

北区新川4条13丁目2-41

【新光小学校との連携】

年間4回程度の一年生との交流を行っている。

◆種いもを植えよう（5月）

種いもを植えた後は、小学校の遊具等と一緒に遊んで交流を図っている。

◆おいもほり・おいもパーティー（8月）

いもの収穫後は、ボランティアの保護者が、芋を茹でてくれ、体育館で一緒に食べて交流している。

◆学習発表会見学（11月）

1年生の練習風景を見学している。自分たちの発表会に向けての意欲を高めることにつながっている。

◆小学校探検（2月）

学校内の様々な教室を見学したり、一年生の授業風景を見学させてもらったりしている。また、学校の先生への質問コーナー等を設け、子どもたちの疑問や不安などにも応えていただく場面を設けている。



「小学校の畑で一年生と一緒に
お芋掘りをしている様子」



「おいもパーティ」

上記活動では、近隣の保育園も一緒に行う活動がある。お互いの教育活動の充実を図るために、教師間での幼小懇談会も行っている。

【成果】

- ・連携前は小学校に対する不安をもつ子が多く、特に3学期は不安定になることも多かったが、連携を始め、年に数回ではあるが、実際に学校に行くことにより、不安よりも期待をもつ子が多くなってきた。また、学習発表会や授業風景の見学は、より現実的に捉えることができるようで、とても関心をもって見学している。

【考察】

- ・保護者も、小学校との交流があることで、就学がスムーズだと大変喜んでいる。
- ・年に数回の交流ではあるが、無理のない形で交流が図られていると思う。保育園とも合同で行う機会も少しずつあり、今後は、幼保小の連携をさらに深められたらと考えている。

あかつき篠路保育園

〒002-8021

北区篠路1条6丁目2-7

2011年よりスタートした、太平小学校との交流です。早いもので、今年で5年目を迎えました。保育園からは徒歩で15分のところにある、一番近い小学校です。毎年10月から11月頃に実施するようにし、小学校の学習発表会1年生の演目を見学させていただいています。一番の目的は、日頃共に生活をしている仲間たちと一緒に「小学校」へ、足を運び、見ることにあります。小学校入学前、長男・長女・ひとりっ子のお子さんには小学校との関わりがありません。学校への期待と憧れがあっても、実際には不安もあり未知な場所です。そこへ仲良しの友達と一緒にいった喜びを感じ、お兄さん、お姉さんに優しくしてもらった体験を経て、安心感を得て、親しみを持ち、毎日元気にそれぞれの就学先の小学校へ通う原動力になっていくと思います。1時間ほどの交流時間といえども、大きな成果を得ている実感があります。

【1年生の学習発表会で取り組んだ劇を鑑賞！】



【成果】

保育園外で、縦割りのつながりを感じてくる良さがあります。更に保育士も小学校を身近に感じ、垣根を越えた思いで就学へ向き合えるようになりました。保護者への就学に関わる相談も、安心感をもって伝えることができるようになりました。何よりも小学校と保育園の職員同士が顔見知りになったことが大きな成果だと感じています。



2013年からは近隣の太平保育園さんも加わって、共にこの時間を過ごしています。

【広い体育館で自己紹介！】

【お別れは1年生のアーチをくぐって！】



【考察】

学校訪問は、緊張感はありますが良い経験。保育園内で見せる姿以上のその子の個性も見られ、学校への引継にも役に立ちます。

今年度は、校内探検もさせていただきました。また、運動会を初めてグラウンドをお借りして行わせていただきました。お蔭様で職員同士が身近な存在となれたように感じます。今後は新たな計画を模索しながら、日常の中で学校訪問をさせていただき、連携を深めていきたいと考えます。

新川西さくらこ保育園

〒001-0931

北区新川西1条4丁目2-45

【連携内容】

- 4月6日（月） 新川小学校の入学式に参加する。（園長）
 - 5月21日（木） 年長、年中児の徒歩遠足で新川小学校に歩いて行く。体育館、グラウンドで遊ぶ。
 - 5月30日（土） 新川小学校の運動会を見学する。（園長、職員）
 - 6月17日（水）、26日（金） 新川小学校の体育館を借りて、運動会の練習をする。
 - 7月4日（土） 新川小学校の体育館を借りて、運動会を行う。
 - 11月29日（日） 新川小学校の学習発表会を見学する。（園長）
 - 12月5日（土） 本園の発表会に新川小学校の教頭先生が来園される。
- その他 運動会、発表会の招待、年間計画、おたよりの交流をする。



うんどうかい



【成果】

- ・体育館を借りての運動会は2回目で、準備、本番は昨年の反省を生かし、効率よく動くことができた。
- ・運動会当日の雨天の心配もなく前日より、準備を進める事ができた。
- ・放送設備も使えたので、音響効果が良かった。
- ・乳児が床でハイハイできるなど室内ならではの競技をすることができた。
- ・新川小学校の校長先生、教頭先生、総務の先生が練習や準備、本番と見に来てくださって子どもたちの様子を見ていただいた。
- ・教頭先生が発表会を観に来て下さった。
- ・学校だよりを読むことで、小学校の取り組みや姿勢、様子を理解できた。

【考察】

昨年度の経験を活かし、今年度も小学校の体育館をお借りして運動会を行った。昨年の反省より、保護者の駐車について開放する時間、駐車の方法など事前に準備を進めたので、スムーズに誘導することができた。また、今年度も練習のために2日、2時間ずつ体育館を開放していただき、幼児クラスの競技の練習ができたのもありがたかった。

幼保小連携が始まり、学校だよりを送っていただいたり、行事等にもお誘いいただいて、小学校や幼稚園、他の保育園の様子をさらに知ることができた。ただ、今年度は小学校の発表会を園児が観に行く機会を作らなかつたが、保育園の発表会と時期が重なりかなわなかつたことが残念で、次年度への持ち越しとして考えていきたい。

[屯田西小学校との連携]

- ・ 第3回 幼保連携推進協議会
- ・ 日時・・・平成28年1月18日 13:30～
- ・ 場所・・・札幌市立白楊小学校
- ・ 内容・・・今年度の成果と課題 次年度に向けて (小学校の椅子に座り、緊張しながらも喜ぶ子どもたち)
- ・ 15分の間に選択した屯田西小学校の方と連携について希望を話し合い、名刺交換をした上、後日連絡を取り合い、日時を決めた。
- ・ 平成28年2月10日・・・小学校見学 9:45～10:15



[成果]

- ・ 小学校に行くことで期待や興味がさらに膨らませることができた。
- ・ 学校の雰囲気を感じとることができた。
- ・ 1、2年生は園児に対し興味を示していた。



(パソコンの授業見学に興味)

[考察]

- ・ 入学前ではなく、春先から連携を図り緊張感を和ませ、楽しい経験を通して入学へと導いていくかった。
- ・ 小学生の授業時間に訪問したが、休み時間の過ごし方も見てみたかった。
- ・ 卒園児の学校区が広いため他校の様子や行事なども見てみたいと感じた。
- ・ 授業を見るだけでなく、小学生と関わる機会を多くしたい。



(たくさん本に驚いている子どもたち)



(係の仕事に興味津々の子どもたち)

札幌市立屯田小学校

〒002-0857

北区屯田7条6丁目2-2

【保育園との連携】

①連携の様子

- 1年生が、校区内の保育園年長組と年間5回の交流を行っている。

- 1回目 8月 ・はじめましての会（公園で）
- 2回目 10月 ・秋探しの会（江南神社で）
- 3回目 11月 ・なかよしランドに招待（屯田小で）
- 4回目 2月 ・雪遊びの会（公園で）
- 5回目 2月 ・ありがとうの会（保育園で）



1年生 ~はじめましての会~
「わたしは、〇〇です。よろしくね。」

- 2月、5年生が3学期に校区内の年長組との交流を行っている。

もうすぐ1年生になる年長組の園児たちを招待して、学校の様子（算数・国語・音楽・体育・図工・生活科など）を楽しく体験できるワークショップを行っている。優しく話しかける5年生の姿がたくさん見られる。



1年生 ~なかよしランド~
「ゲームで楽しんでね、」

- 11月 学習発表会児童観覧日に年長園児が1年生の劇を観覧。

児童席の最前列で観覧する年長園児を前に、1年生の子どもたちは、とても張り切って発表していた。



学習発表会 1年生の発表~
「園児のみなさんにも見てもらえて、嬉しいな。」

②連携に至る経緯

1年生の交流は、生活科の学習カリキュラムに位置付けている。5年生では、次年度に最上級生となる意識と意欲を高める活動となることを願って交流を始め、何年も継続している。学習発表会観覧は、昨年度の幼保小連携推進協議会の中で、「次年度は、学習発表会の観覧もさせていただきたい。」という保育園からの希望をもとに、今年度から実施した。



5年生の交流~ワークショップ~
「ここは、国語コーナーだよ」

③連携先との関係

校区内にある、歩いて2分ほどの近隣保育園なので、交流がしやすい。

【成果】

年下の園児たちを相手に、どのように声をかけて接すると、嬉しいと思ってもらえるかを考える学習となり、相手意識が高まるとともに、豊かな心の育成につながった。

年下の園児たちが楽しめるためのゲームの計画や運営、分かりやすい話の仕方の工夫を行うことを通して、創造力や表現力、思いやりの心が育った。

【考察】

年度初めに、保育園の先生と打ち合わせの会を行い、昨年度の成果をまとめて引継ながら、今年度さらにどのような交流を行っていくかを話し合っている。年々、交流がより充実したものになってきている。それぞれの子どもの成長につながる交流となっているので、今後も継続していきたい。

【茨戸メリー幼稚園との連携】

いわゆる小1プロブレムという問題が起きている昨今、幼稚園・小学校の接続がスムーズに行われるように情報を交流することや、園児や児童が実際に交流することで望ましい心身の発達を促進することをねらいとして、昨年度から幼稚園との連携を積極的に進めてきている。

交流先の茨戸メリー幼稚園は、学校に一番近い幼稚園であり、毎年数名程度の入学がある。本校の子どもたちにとっては比較的身近な幼稚園である。計画的に連携を図るために、昨年度から今年度にかけて幼稚園と話し合いをもち、下記の3つの活動により、連携を進めてきた。

学習発表会への 幼稚園児の招待



10月に実施した学習発表会の児童公開日に、茨戸メリー幼稚園の年長クラス(37名)を招待した。

1年生の発表のみの観覧だったが、事前に1年生が生活科「学習発表会に招待しよう」の学習で作成した招待状を、2年生が幼稚園訪問の際に手渡すことで、お互いの意識を高めることにつながった。この交流により、1年生にとっては、発表への意欲化につながり、幼稚園児にとっては、見たことの無い小学校のステージでの発表を楽しみ、小学校の行事への憧れにつながった。また観覧後、幼稚園からお礼のカードが届き、1年生にとって励みになった。

1・2年生「生活科」の カリキュラムに取り入れて



11月の生活科「あきのおもちゃをつくろう」の学習でゲームの店を開いた時に、幼稚園児がお客さんとして参加する形の交流の場をもった。

学校では一番年下である1年生にとって、自分より年下の園児と一緒に活動することは、とても貴重な機会となった。「幼稚園の友達でも分かる説明は?」「自分から声をかけるとお店に来てもらえそう…」「このルールでは難しいな。少し易しくするには…」と、1年生だけの活動に留まらない、相手意識をもった交流は大変有意義なものとなっていった。

また、今年度より2年生の生活科「もっとなかよしまちたんけん」での校区探検の訪問先の一つに、幼稚園を組み入れ、幼稚園の活動を実際に見て昔を振り返ったり、幼稚園の先生方の仕事を改めて知ったりすることから自分たちの成長を感じることができた。



教員同士の交流

昨年度に引き続き、小学校教諭が、幼稚園の施設や日常活動を見学する場を設定し、入学前の園児の実態を把握した。

今後、幼稚園教諭が本校の施設や授業を見学する機会を計画していく予定である。

札幌市立和光小学校

〒001-0034

北区北34条西7丁目3-2

【行事での連携】

本校では、近隣の幼稚園・保育園と連絡を取り合い、運動会や参観日などを保育士さんに参観していただいたり、入学前の状況を教えていただいたりしています。

学習発表会では、毎年、近隣の幼稚園・保育園の園児を、1年生の最終練習の時に招待しています。今年度は、近隣の麻生保育園とエンジェル保育園の園児が来てくれました。本校の1年生は、園児からたくさんのお手拍子をもらい、また「おもしろかった」「とても上手だった」などの感想をもらい、自信をつけて学習発表会の本番に臨めました。また、園児たちも「楽しそうだ」とか「早く小学校に来たい」などと、小学校に入学する期待感をもつことができるようです。

また12月には、札幌北幼稚園の年長園児と本校の1年生が交流しました。1年生が塗り絵やパズルなどを作り、園児が色を塗ったり切ったりして一緒に楽しんでいました。今年度は104名の園児が来校し、少し緊張しながらもとても楽しそうに遊んでいました。

【成果】

- ・幼稚園・保育園の年長の園児が小学校の学習発表会を見学することによって、小学校入学への意欲と期待を高めることができました。
- ・1学年上の子どもたちと交流することで、入学してから小学校に登校する時の安心感につながりました。
- ・入学前に次年度に入学する子どもたちの様子を見ることができ、また少しでも学校での様子を見せることで、学校生活に慣れるための一助とすることができました。
- ・1年生にとっては、園児と関わることで自分の成長を振り返ったり、思いやりの心を育むことにつながったり、自立への基礎を養うことにつながりました。

【考察】

学習発表会練習の見学は、年度当初から日程調整をして多くの幼稚園・保育園に来ていただくとよいと考えています。また、行事の見学などだけではなく、話し合いの場を設けたり小学校の教師が保育を見学したりするなど、さらに深みのある交流を模索していく必要があると感じています。今後は本校の教職員と、幼稚園・保育園の先生との交流の機会を模索していきたいと考えています。



【学習発表会練習の見学】



【札幌北幼稚園と1年生との交流】